

紙面紹介

- 1面 東京地評議長のあいさつ
- 2面 各組合の抱負 生計費記者発表
- 3面 12月の主な取り組み
- 4面 パズル 東京今昔 ラパス 交差点 書籍紹介

E-mail lapaz@chihyo.jp
 URL <http://www.chihyo.jp>

TOKYO はたらく仲間

201

2020年1月15日
(毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合
評議会(東京地評)

定価 1部40円(送料別)

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館

TEL 03(5395)3171

FAX 03(5395)3240

迎春 憲法がしきる暮らと職場に 2020年



富士山 (連合通信)

共同、共闘の力で国政、都政を変え、
働く者の要求を前進させよう



東京地方労働組合評議会
議長 荻原 淳

新年おめでとうございます。日頃の東京地評へのご支援ご協力に感謝申し上げます。今年も皆さんと力を合わせて運動を進めます。さらに大きなお力添えをお願い致します。

昨年は、最低生計費調査を皆さんのご協力でも実施できました。最低賃金の大幅引き上げ、全国一律最賃制につなげる運動に、多くの若い方が参加し貴重な経験となりました。20国民春闘では、大幅賃上げ、調査を活かした賃金の底上げ、労働時間短縮など切実な要求を前進させ、格差をなくし人間らしく生き働ける職場と社会をつくりましょう。

安倍政権が、憲法否定、軍拡、国政私物化の政治を続けています。財界大企業が最優先、国民には消費税増税、社会保障解体、教育大改悪など、犠牲押しつけの政治です。政治劣化を押し進めた安倍政権は許せません。市民と野党の共闘、国民的共同力で改憲発議をやめさせ、今年こそ安倍政権を打倒しようではありませんか。

今年が都知事選の年です。都政を都民の手に取り戻すチャンスです。小池都政はこの3年半、都民との公約を裏切り、都民福祉・医療を後退させ、財界大企業中心の大型開発都政を押し進めました。築地市場を危険な豊洲に移転、横田基地オスプレイ配備と訓練黙認、都民を騒音にさらす羽田新飛行ルート推進など、都民の生命、健康、財産を守る本来の都政とかけ離れた悪政です。共同を強め、市民と野党の共闘、野党共闘で都民が主人公の都政に変えましょう。東京地評は、単産・地域の皆さんとともに組織を拡大し、働く仲間の要求実現をめざし、2020年も大いに奮闘します。